兵庫県立川西高校 対 岡山県立烏城高校

■日時 8月10日(火) ■天候 晴れ ■球場 大田スタジアム 第4試合 2回戦

■試合時間 2時間15分 ■備考

■審判 球審:杉田 塁審:松山 茂木 松山憲

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
烏城	東中国・岡山	3	1	0	0	0	0	0	0	0							4	8	4
川西	兵庫	2	0	0	0	0	0	0	0	0							2	1	5

		鳥	城																				
		ポ	ジショ	ョン		氏名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	中				山	崎準	售 平	4	1	1	0	死球	遊安		三振			三振		投ゴ			
2	_				實	兼道	<b>全介</b>	4	1	0	0	右失	左飛		投ゴ			三振					
3	投	Ξ			宍	戸作	1 大	4	0	1	0	三振	右安			三振		捕邪					
4	左	投			大	崎 光	士郎	4	0	1	1	三振	左安			ーゴ			二ゴ				
5	Ξ	左			藤	原素	<b></b>	4	1	0	0	三失	三振			投ゴ			一邪				
6	遊				大	森	卓	4	0	2	1	左安		三振			中安		遊ゴ				
7	捕				津	田寿	₹史	2	0	1	1	三安		四球			投犠			右直			
8	右				村	上責	見	4	0	2	0		中安	三振			遊安			投ゴ			
9					Ξ	樹将	第寛	4	1	0	0		三ゴ		一邪		遊失			一失			
							,																
						合計		34	4	8	3	残	塁:5	併着	设:0								
										備	考												

■投手成績

■バッテリー

投手 宍 戸 伸 大 大 崎 光士郎

捕手											
津	田	泰	史								

-1× 1 700190						
氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
宍 戸 伸 大	2 1/3	13	1	1	4	1
大 崎 光士郎	6 2/3	23	0	6	1	0

		Ш	西																				
		ポ	ジシ	ョン		氏名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	_				吉日	Ħ	蓮	4	0	1	0	中安	中飛			遊失		三ゴ					
2	Ξ				白川	維	佐武	4	0	0	0	投飛		三振		三ゴ			三ゴ				
3	投				江前	泰 裕	太	2	1	0	0	四球		四球		三振			三邪				
4	捕				廣源	頁 純	_	2	1	0	0	死球		死球		遊飛			三振				
5	右	遊			大札	喬 龍	馬	4	0	0	0	遊ゴ		三ゴ			遊ゴ			三ゴ			
6	中				德 重	1 流	星	3	0	0	0	遊失		中直			三振			四球			
7	左				山山	<u> 7</u> —	平	3	0	0	0	投ゴ			三振		— <u>п</u>						
7	打				小台	臣 晃	司	1	0	0	0									三振			
8	=				谷日	日翔	平	4	0	0	0		右飛		遊飛			三振		三ゴ			
9	遊				半日	日祐	人	2	0	0	0		捕邪		遊ゴ								
9	打	右			下顺	東優	矢	1	0	0	0							遊ゴ					
						合計	-	30	2	1	0	残	塁:5	併着	设:0							 	
										備	考												

■バッテリー

投手

江 藤 裕 太

捕手 廣瀬純

■投手成	績
------	---

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
江 藤 裕 太	9	37	8	9	2	1

## ■戦評

前日の大宮中央戦を7回コールドで勝ち上がった川西と5年ぶり9回目出場の古豪烏城との対戦。初回先攻の烏城は前日15奪三振 で勢いに乗る川西先発江藤の立ち上がりを捉え、先頭の山崎が死球で出塁すると2番實兼のライトフライを後逸する間に一気にホー ムインして1点先制。その後も敵失と2本の安打でこの回3点を先制する。その裏川西は先頭の吉田が中前打で出塁。四死球で二死 満塁のチャンスから敵失で2点を返しなおも二死二・三塁と一打逆点のチャンスだったが烏城先発宍戸が踏ん張り後続を断ち切る。2 回表烏城は好投手江藤から短打を続け二死満塁のチャンスを作り4番大崎が左前適時打で1点を追加し4-2とリードを広げる。3回 裏川西は四死球と盗塁で一死一・三塁と烏城先発宍戸を攻め立てたところで烏城ベンチは左翼の大崎をリリーフに送る。大崎は期待 に応え後続を打ち取り無得点で切り抜ける。4回以降は川西・江藤、烏城・大崎両投手とも安定した投球を続け両チームとも無得点に 終わり4-2で烏城がベスト8に進出した。